

■7月6日

PEACH(LCC)、仙台線初便売上、180ポイントを寄贈

ピーチ・アビエーションは5日、関西地方に移り住む東日本大震災の被災者に向けて4月12日に運航開始した同社の関西～仙台線の初便の売り上げ相当額を寄贈したことを発表した。

同路線の初便の1往復(MM131・132便)の売り上げ相当分として180万円分の「ピーチポイント」を、大阪府下避難者支援団体等連絡協議会(通称 ホットネットおおさか)に贈ったもの。「ピーチポイント」は同社の航空券などの購入に利用できる。

なお、関空～仙台線は、9月1日からは1日3往復(6便)へ増便する予定。

(みんなの空港新聞)7/5

<http://airportnews.jp/headline/1275/> (-> <http://airportnews.jp/headline/1275/>)

(PEACH プレスリリース)7/5

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130705-Press-Release-J1.pdf> (->

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130705-Press-Release-J1.pdf>)

岩国空港、初の国際線チャーター便、10月にハワイへ

岩国商工会議所などで行く「岩国ハワイチャーターフライト」実行委員会は、岩国錦帯橋空港開港後初の国際チャーター便となるホノルルツアーを発表した。

10月9日発・14日着の日程で、200人を募集。費用は宿泊費を含めて1人22万8000円。16日から受け付ける。

運航会社は全日空で使用機材はボーイング767クラスの機材を予定。

同商議所は、米軍岩国基地の軍民共用化による民間空港開港に向けて4回のハワイチャーター便を運航している。

(毎日新聞)7/5

<http://mainichi.jp/area/yamaguchi/news/20130705ddlk35020361000c.html> (->

<http://mainichi.jp/area/yamaguchi/news/20130705ddlk35020361000c.html>)

鹿児島県、上海線利用率向上、第一陣派遣で搭乗率は57.1%

中国東方航空の運航する鹿児島～上海線利用率低迷に対応するため、県が計画している職員派遣第一陣の研修の概要を発表した。来週10日に第一陣として上海に派遣されるのは、農政部と土木部の職員22人。研修は3泊4日で費用は1人あたり9万8000円で、研修を終えた職員は今後の政策にどう反映させるかなどをまとめた報告書を30日以内に提出する。

また、路線維持を航空会社などに要請するため、10日は伊藤知事や経済団体のトップなども上海線を利用することから、行き便の搭乗率は30.2%から57.1%に。帰りの便は47.8%から66.4%にアップする予定。

(日テレ)7/5

<http://news24.jp/nmn/news8723665.html> (-> <http://news24.jp/nmn/news8723665.html>)

